

R2M シリーズ

仕様書	PC レコーダ	形式
		R2M - 2G3

形式	
形式	R2M - 2G3 - <input type="checkbox"/> / MSR
PC インタフェース	RS-232-C
入出力部	直流 8 点入力
供給電源	
◆交流電源	加算価格
MR2: AC 100 ~ 240 V (AC アダプタ付)	+ 8,000 円
◆直流電源	
R : DC 24 V	+ 0 円
付加コード	
PC レコーダソフト	
/ MSR : 付き	

ご注文時指定事項

- 形式コード (例: R2M - 2G3 - R / MSR)

関連機器

- USB シリアル変換アダプタ
(形式: USB - RSAQ アイ・オー・データ機器製)

付属品

- 9 ピン、D サブストレートケーブル (1 m)
- PC レコーダソフトウェア CD (1 枚)
- AC アダプタ (MR2 電源時のみ)

機器仕様

接続方式

- 直流電源・入出力部: ユーロ端子台 (接続線径 撚線および単線とも 0.14 ~ 1.5 mm² または AWG26 ~ 16)
- AC アダプタ: 側面ジャック
- RS-232-C : 9 ピン、D サブコネクタ (オス形)
- コンフィギュレータ: 背面ジャック RS-232-C レベル
- アイソレーション: 入力・コンフィギュレータ用ジャック
- 警報出力: RS-232-C・電源間

アドレス設定: ロータリスイッチにより 1 ~ F まで 15 台分設定可能

RUN 表示ランプ: 緑色 LED、正常時点滅

RS-232-C インタフェース仕様

通信規格: EIA RS-232-C 準拠

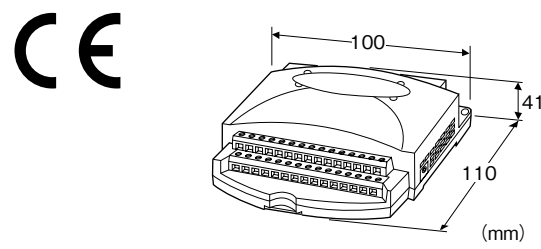
伝送速度: 38.4 kbps

通信方式: 半二重非同期式無手順

制御手順: Modbus-RTU

伝送距離: 10 m 以下

基本価格 90,000 円



(mm)

主な機能と特長

- パソコンを用いた工業用記録計
- PC レコーダソフトウェア付
- トリガ入力・警報出力付

アプリケーション例

- 収集・記録されたデータを EXCEL に取込み、データ解析として表形式、グラフ形式にて表示

入出力仕様

入力信号: 直流 ± 10 V 入力、8 点、
シングルエンド入力
(差動ではなく全チャンネル共通の入力コモンに対する電圧測定)

入力抵抗: 300 k Ω 以上

サンプリング周期: 50 ms / 8 点

トリガ入力: 無電圧接点入力
(検出レベル 1.5 V 以下で ON)
印加電圧 約 DC 5 V、1 mA

警報出力: フォト MOS (無極性)
(ON 時 50 Ω 以下、OFF 時 1 M Ω 以上、
停電時 OFF)

- ピーク負荷電圧: 50 V max
- 連続負荷電流: 50 mA max
- ピーク負荷電流: 300 mA max (0.1 秒以下)

設置仕様

供給電源

- 交流電源: 許容電圧範囲 AC 85 ~ 264 V
47 ~ 66 Hz 約 16 VA
- 直流電源: 許容電圧範囲 DC 24 V ± 10 %
リップル含有率 10 %p-p 以下 約 0.9 W

使用温度範囲: -5 ~ +60°C

使用湿度範囲: 30 ~ 90 % RH (結露しないこと)

取付: 壁表面取付または DIN レール取付

寸法: W 100 × H 110 × D 41 mm

質量: 約 300 g

性能 (測定レンジに対する % で表示)

- 基準精度:** $\pm 0.1\%$ ($\pm 20\text{ mV}$)
温度係数: $\pm 0.01\%/^{\circ}\text{C}$
応答時間: 約 0.6 s ($0 \rightarrow 90\%$)
絶縁抵抗: 入力・コンフィギュレータ用ジャックーRS-232-C・直流受電端子・ACアダプタ用ジャックー接地用端子ー警報出力ーACプラグ*1間 $100\text{ M}\Omega$ 以上 / DC 500 V
耐電圧: 接地用端子ー入力・コンフィギュレータ用ジャックーRS-232-C・直流受電端子・ACアダプタ用ジャック間 AC 500 V 1分間
 入力・コンフィギュレータ用ジャックーRS-232-C・直流受電端子・ACアダプタ用ジャックー接地用端子ー警報出力間 AC 2000 V 1分間
 ACプラグ*1ーRS-232-C・直流受電端子間 AC 2000 V 1分間

* 1、R電源時は存在しません。

付属 PC レコーダソフト

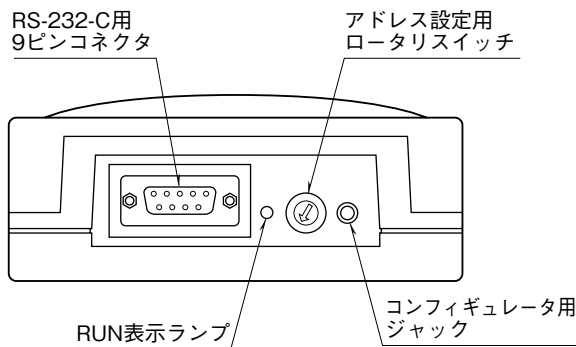
- PCレコーダソフト総合支援パッケージ (形式: MSRPAC - 2008) が付属します。
- MSRPAC - 2008の内容およびPCレコーダソフトに必要なシステム (お客様ご用意) については、MSRPAC - 2008仕様書をご参照下さい。

適合規格

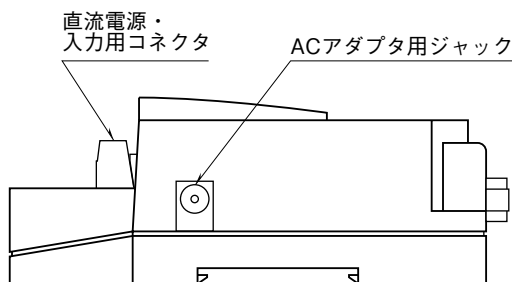
- 適合 EC 指令: 電磁両立性指令 (EMC 指令)
 (2004 / 108 / EC)
 EMI EN 61000-6-4
 EMS EN 61000-6-2

パネル図

■背面図



■側面図



■RS-232-C インタフェース



略号	ピン番号	機能	説明
SD	2	送信データ	本器から送られるデータ信号
RD	3	受信データ	本器に送られるデータ信号
SG	5	信号用アース	信号用アース
CS	7	送信可	本器へのデータ送信許可
RS	8	送信要求	送信要求の信号
	1	本器内非接続	
	4		
	6		
	9		

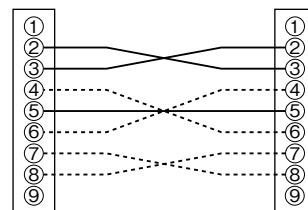
■ケーブル接続

- パソコンとの接続に付属ケーブル以外を用いる場合は、ストレート形をご利用下さい。
- R1Mシリーズ I/O および R2K-1 の RS-232-C コネクタに R2M-2G3 を接続する場合は、次の2条件を満足する物をご利用下さい。
 (インターリンク / クロス / リバースなどの名称で市販されているケーブルのほとんどがこの条件を満足します。)
 ・下図における実線の結線を含むこと
 ・ピン⑧同士が結線されないこと
 (結線は故障の原因となります。)

●ケーブル ピン接続図

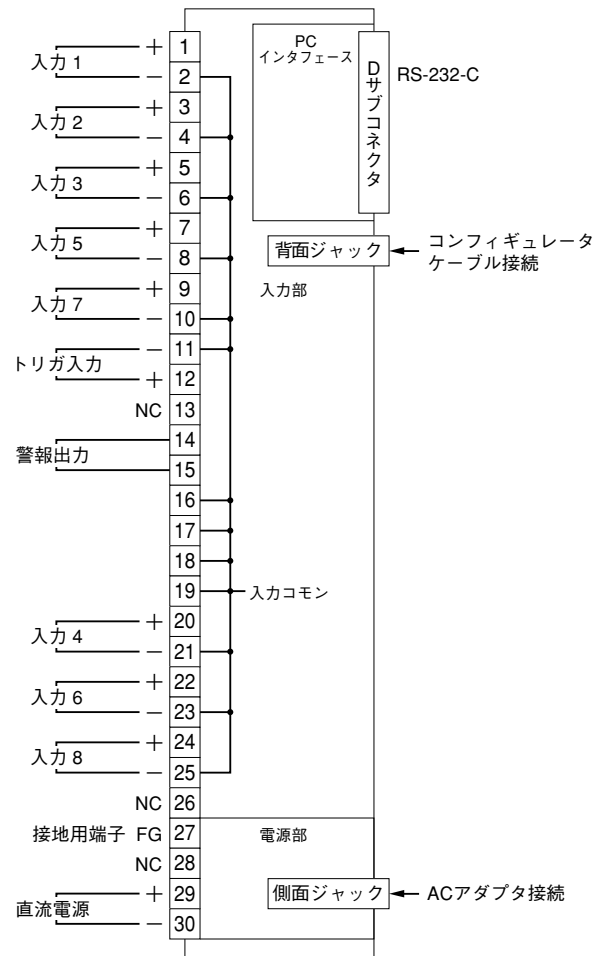
R1Mシリーズ I/O など

R2M-2G3



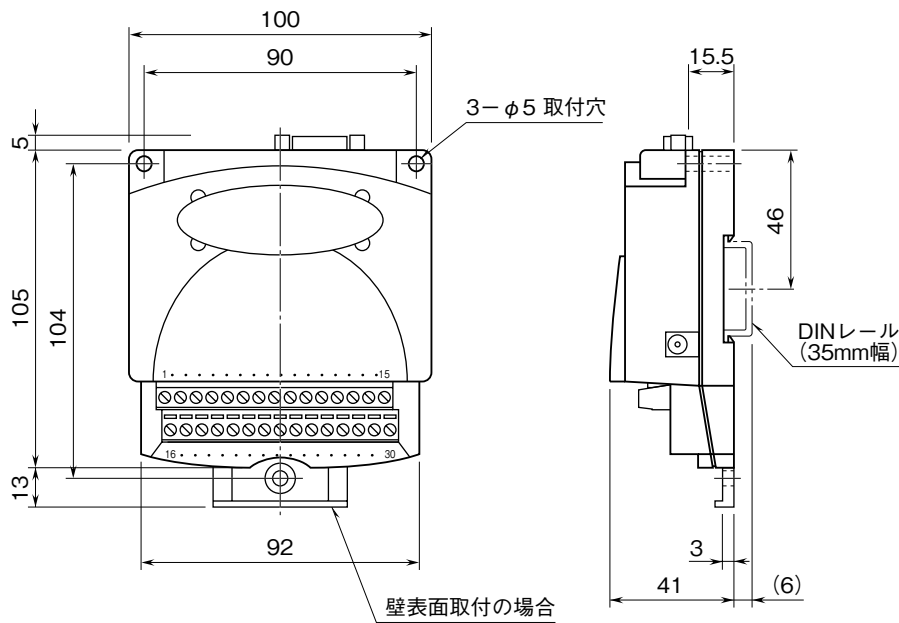
実線と破線による接続はインターリンクケーブル利用例です。

端子接続図

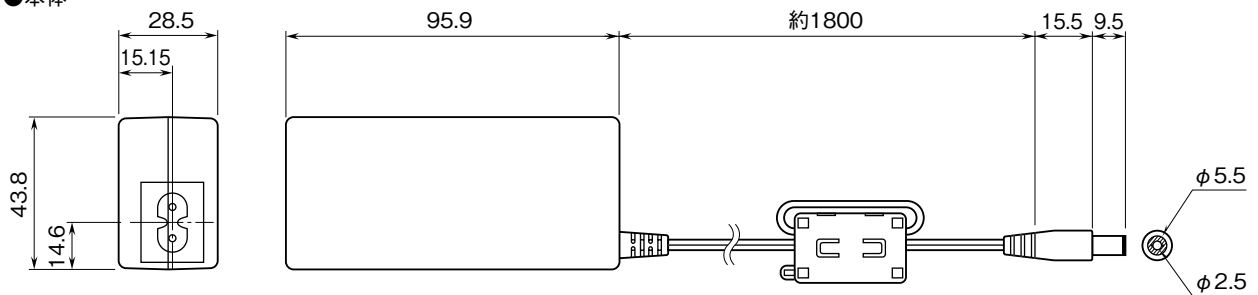


- 注1、端子番号2、4、6、8、10、11、16、17、18、19、21、23、25は入力コモンです。
ただし、11はトリガ入力専用です。
これらの端子相互間に大電流が流れるような結線は本器の破壊を招きますので、お避け下さい。
- 注2、シールド付より対線を使用するなど、入力信号にノイズが混入しないように十分ご注意ください。
- 注3、安全のため、端子番号27 (FG) を接地してご利用下さい。
- 注4、端子番号30 (直流電源-) とDサブコネクタのSG (信号用アース) は内部接続されています。端子番号27 (接地) はR2M-2G3の入出力端子からのノイズをアースに導くための端子です。パソコンおよびR2M-2G3の故障を防ぐため、両機器をRS-232-Cケーブルで接続する前に、端子番号27および30をパソコンのアースに接続しておくことをお勧めします。
- 注5、ACアダプタ接続ジャックと直流受電端子29、30は直結されています。両側からの給電はACアダプタおよび端子29、30に接続した電源装置の故障の原因になります。
- 注6、端子番号13、26、28 (NC : 非接続) には何も接続しないで下さい。誤接続は故障の原因になります。

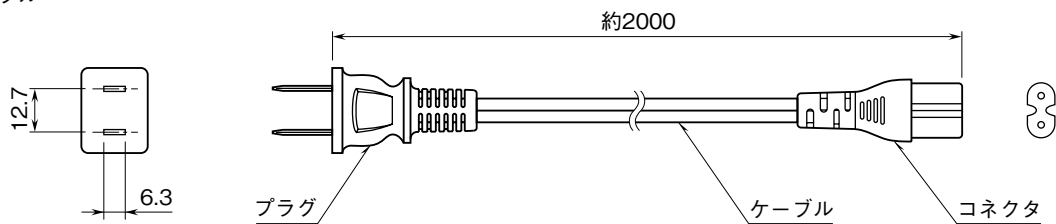
外形寸法図 (単位: mm) ・ 端子番号図



- ACアダプタ
- 本体



- ケーブル



システム構成例

